

社会資本総合整備計画書
社会資本整備総合交付金
(山形県米沢市)

平成31年 1月11日

令和 2年 4月 8日(第1回変更)

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年04月08日

計画の名称	米沢市における下水道未普及地域の整備（重点計画）												
計画の期間	平成31年度～平成31年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	米沢市												
計画の目標	事業計画区域内における未普及地域の早期解消により、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	54	A	54	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	下水道が利用可能な区域の割合を80.46%（H31当初）から80.51%（H31末）に増加させる。			
	下水道が利用可能な区域の割合（%）	80%	%	81%
	下水道処理区域面積（ha） / 公共下水道（汚水）事業計画区域の面積（ha）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
定量的指標の当初現況値（H31当初）：80.46% 定量的指標の最終目標値（H31末）：80.51%												

A 基幹事業

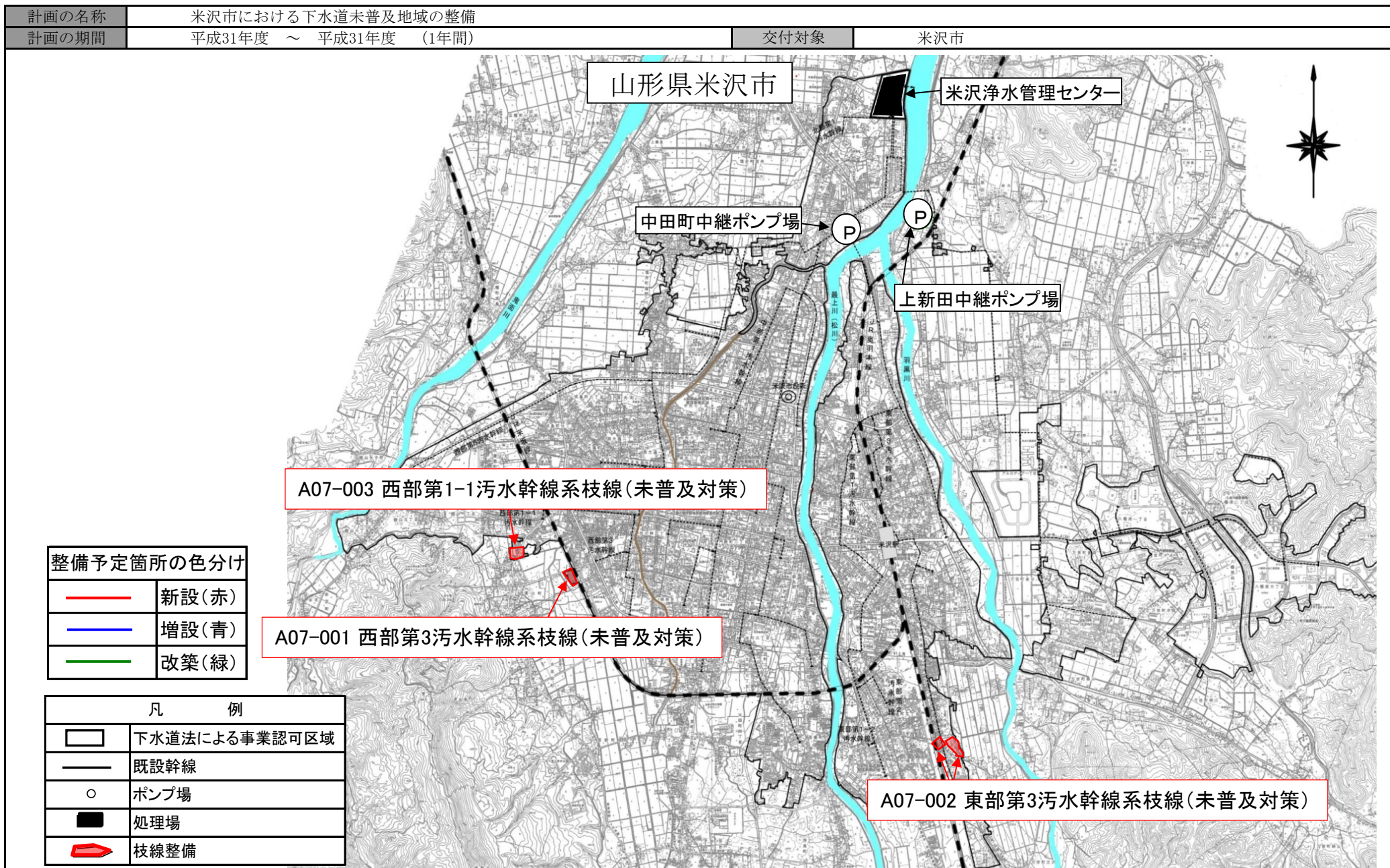
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	米沢市	直接	米沢市	管渠(汚水)	新設	西部第3汚水幹線系枝線(未普及対策)	150mm L=96m	米沢市						14	-	
	A07-002	下水道	一般	米沢市	直接	米沢市	管渠(汚水)	新設	東部第3汚水幹線系枝線(未普及対策)	150mm L=139m	米沢市						17	-	
	A07-003	下水道	一般	米沢市	直接	米沢市	管渠(汚水)	新設	西部第1-1汚水幹線系枝線(未普及対策)	150,200mm L=174m	米沢市						23	-	
												小計						54	
												合計						54	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31				
配分額 (a)	29				
計画別流用増 減額 (b)	2				
交付額 (c=a+b)	27				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	27				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)



事前評価チェックシート

計画の名称： 米沢市における下水道未普及地域の整備（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が図られている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 事業の具体性など事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 事業の実施について、住民等間で合意形成が行われている。	○
III. 計画の実現可能性 計画期間中の計画管理（モニタリング）体制が適切である。	○